

研究課題名	2017-025 冠動脈バイパス術の緊急性がその術後管理に与える影響
実施責任者	名古屋掖済会病院 心臓血管外科 部長 桑原史明
研究の概要	<p>急性冠症候群に対する緊急治療としての冠動脈バイパス術は、近年減少傾向にありますが、受けられる患者様の病態は、より重症化・複雑化する傾向にあります。</p> <p>緊急又は準緊急の冠動脈バイパス術を受けられた患者様と、待期手術を受けられた患者様の、術前状態、術中経過、術後経過について、当院の電子カルテシステムより情報を収集して検討します。</p> <p>この内容には氏名・住所といった個人を特定できるような情報は含みません。</p>
実施の期間	2011年 1月 1日 より 2016年 12月 31日 まで
研究対象	上記の期間に当院にて、単独冠動脈バイパス手術を受けられました患者様が対象になります。